

TOPIC
3

フードバンクでの「切実な声」を区政に生かす

新型コロナウイルス感染拡大の影響で、生活苦が広がり続けています。私は、区内の青年団体が2020年から取り組んできたフードバンク事業で相談役を務めてきました。

食料を受け取りに来た方からは「子育て中なので、ベビー用品など出費が多く困っている」「生活保護費削減の影響で、今も、1日に3食食べられないことも多い。食糧支援事業を利用できて助かっている」などの声が寄せられました。

私は、区議会で、**区内で民間団体などが行っている食糧支援事業などの情報を収集し、利用したい人に届くよう情報提供すること。また、支援活動を支えるため、公共施設を支援団体へ無償で貸し出すことを求めました。**区は、「民間団体については、自主的に活動しているため、情報収集などに課題がある」と答弁。今後も区として食糧支援事業を支える施策の実現に向けて全力でがんばります。



フードバンクで相談中!

TOPIC
4

障害の有無にかかわらずスポーツに親しめるように

区内の体育団体の方から「車椅子テニスの競技をしやすい環境づくりをおこなってほしい」という声が寄せられました。私は、早速区内のテニスコートを回ってみると問題がたくさんあることがわかりました。

区立加賀庭球場は、入口が1カ所しかなく、階段を上ってテニスコートに移動する以外に選択肢がありません。またシャワー室へも階段を上らないと利用できません。

私は、区議会本会議で、**車椅子で直接コートやシャワー室へ移動できるように改善することを求めました。**区長は、「ユニバーサルデザインに配慮した施設にしていきたい」と答弁。早期実現が求められますが、実施の時期については未定のままとなっています。

車椅子で利用できるよう改善してほしい!



荒川なお 区政報告

日本共産党 板橋区議会議員

なおNOW

2022・2023冬号

2023年4月から23区で

18歳まで

所得制限なし

医療費無料化が

実現

日本共産党区議団は「所得制限なし」を一貫して提案してきました。

- 主な活動地域 / 坂下、東坂下、舟渡、若木、西台、志村3丁目、相生町、蓮根1、2丁目
- 坂下事務所 / 坂下1-26-11-101
TEL 3960-8530 (FAX兼用)
- 日本共産党 板橋区議団控室 / TEL 3579-2717

ご意見・ご要望をお寄せください



1977年7月16日生まれ。板橋区出身。板橋区立板橋第5小学校・板橋区立板橋第2中学校・東野高校・東洋美術学校卒業。日本共産党板橋地区委員会勤務を経て、2011年区議会議員選挙で初当選。現在は、マラソン、フットサル、水泳、美術、旅行。なんでも相談会を定期的に開催しています。

荒川なお Arakawa Nao
プロフィール
常任委員会 区環境委員会(委員)
特別委員会 インクルーシブ推進調査特別委員会(委員)

私は、2022年度予算総括質問に立ち、板橋区内にある公園公衆トイレの中で、**未だに100カ所も和式のみの公園が残されていることを明らかにしました。**ただでさえ洋式化が遅れているにもかかわらず、板橋区の計画は、年間4ヶ所のみとなっています。回計画は、「すべての人にとってくらしやすい地域社会の実現をめざす」としたユニバーサルデザイン推進計画2025とも相いれないものです。今すぐ、全てのトイレの洋式化の計画を立てるべきです。

写真は、2023年3月に「誰でもトイレ」が設置される予定の坂下2丁目公園。



今、コロナや物価の高騰などの影響で生活苦が広がっています。気軽に相談ください。



ひきこもり公園トイレの洋式化をすすめます

和式の100カ所が!

TOPIC
2

安心できる避難所の確保を

TOPIC
1

私は、これまで避難所でのプライバシーの確保や水害時の垂直避難場所の確保を求めて質疑を行ってきましたが、今も、改善しなければならぬ課題が多く残されています。

今年度、板橋区は、特に水害リスクの高い舟渡・新河岸地区の1階から3階に居住する要支援者約100人分の個別避難計画を作成することを発表しました。しかし、この人数は災害時にひとりで避難することが困難な人の一部にすぎません。私は、**2022年度予算議会での「区」の責任で早急に、誰かどのように避難を支援するかの計画をすすめること」を求めました。**区は「浸水地域に居住している方については、なるべく早く計画作成にこぎ着けたい」と答えています。